

摂津市

摂津モバイルサイト開設

はじめに

インターネットへの接続環境は、携帯電話がパソコンをはるかに凌ぎ約8,500万台以上が普及しているといわれています。多くの人が「天気予報」「列車の時刻表」など様々な情報を携帯電話から得ることが日常になった今、行政も市民が求める情報を提供する必要があるとの考えに立ち、摂津市は携帯電話用のサイトを構築、昨年11月1日から稼働を開始しました。

サイト概要

「市民がホントに使うサイト」を基本コンセプトに、「市内医療機関情報」や「講座・催し情報」「公共施設案内」などを掲載しました。また、ほぼすべての携帯電話の機種で閲覧ができるよう旧 ez-web の html 形式にも対応させました。



(URL : <http://www2.city.settsu.osaka.jp/mb/>)

掲載内容

掲載内容は、画面遷移図の「TOP ページメニュー」のとおりで、各メニューの概要は次のようになっています。

「0. 災害緊急情報」は、災害発生時に市からのお知らせを発信するページです。普段は使用しませんが、災害時情報の掲載箇所を周知しておくために最上段に記載しました。

「1. トピックス」は次の「2. お知らせ／催し」の中から重要事項や大きなイベントなど8件ほどを

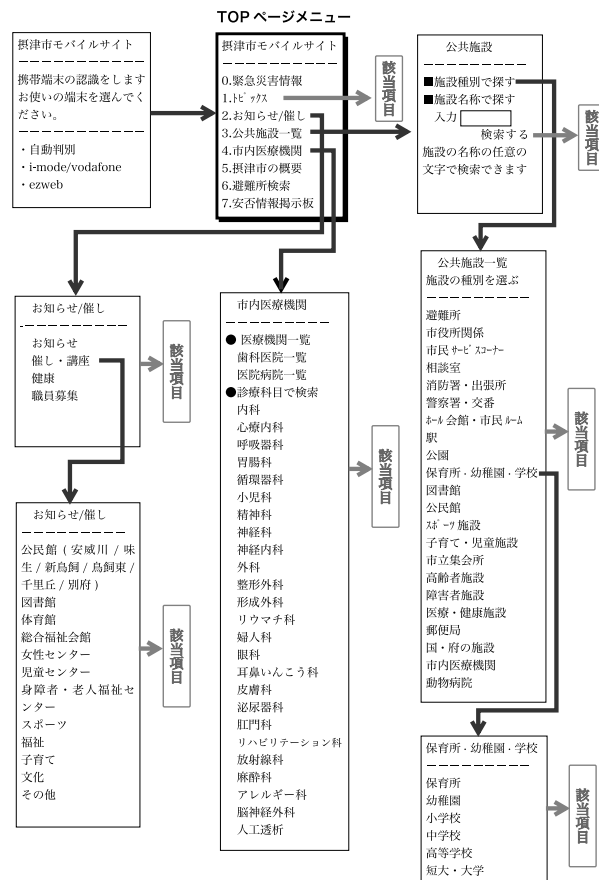
抜粋したものです。

「2. お知らせ／催し」は、イベントや講座、募集情報など「広報せつつおしらせ版」(毎月1日発行)に紹介されているほぼ全ての内容約90件を毎月更新で掲載しています。「お知らせ」「催し・講座」などに分類しており、「催し・講座」については、さらに開催場所ごとに紹介しています。

「3. 公共施設一覧」には、市の施設のほか郵便局や動物病院など249カ所の「所在地」、「電話番号」、「施設の概要」が掲載されています。

「施設種別」から探し出す方法のほか「文字検索」(一部分でも可)から探すこともできます。

モバイルサイト画面遷移図



「4. 市内医療機関」のページには、市内にある歯科医院39件と医院病院43件の「診療時間」や「休業日」等を掲載しています。医療機関の検索にあたっては、「医院機関一覧」のほか、「診療科目」からも探し出すことができます。

「5. 摂津市の概要」は、市外の方のために、市を簡単に紹介しています。

「6. 避難所検索」「7. 安否情報掲示板」は、すでに携帯電話対応のサイトとして開設していたものを今回メニュー項目に取り込みました。平成16年1月に開設した「避難所検索」には、市内の避難所39箇所をエリアごとに一覧掲載しています。なお、GPS対応携帯電話機では、直近の避難所が探し出せる仕組みも備えています。

平成15年1月にスタートした「安否情報伝言板」は、災害時に市民が互いの安否を伝えあうためのもので、普段は稼働していません。

## 医療機関情報の掲載

「市民がホントに使うサイト」をコンセプトに同サイトの構築を始めましたが、そのためには、目玉となるコンテンツが必要となります。「暮らしに密着した」「市民が求める」「デジタルの利点である検索機能の効果が発揮できる」を条件に検討した結果「医療機関情報」が浮上りました。担当である健康推進課に相談したところ「『〇〇科の医院を教えてください』という問い合わせが多数あり、診療科目で医院を探す仕組みがあれば便利」、「市域内に公立の病院を持たない本市の市民にとって必要」との意見を受け、掲載を決めました。

医療機関の「診療科目」や「休診日」、「診療時間」など市が管理する情報ではありませんが、市医師会の協力により市内の全医院病院を掲載することができました。

## データベース方式のウェブサイト

携帯サイトのコンテンツは、すべてパソコン用のウェブサイト「摂津市ホームページ」と同じデータ



を使用しているため、携帯サイト用データを新たに作成することはありませんでした。

本市のウェブサイトは、個々の情報を一件のレコードとしてファイリングしたデータベースから、キーワードにより検索された結果を閲覧画面として表示するという「データベース方式」を採用しています。

今回の携帯サイト構築にあたって、このデータベースファイルを携帯電話からも閲覧できる仕組みを整備しました。従って、携帯サイト用に別途データを作成する必要がなかったのです。

また、広報紙「広報せつおしらせ版」は、1記事を1レコードとして扱う「記事データベース」からデータを流し込んで作成されており、ウェブサイトで毎月更新される約90件の「お知らせ／催し」情報もこのデータベースから流し込まれる仕組みになっています。

つまり、記事データベースに一度入力すれば、「広報紙」「パソコン用サイト」「携帯用サイト」に転用され、それぞれに作成する必要がありません。

「記事データベースによる広報紙作成」「データベース方式のウェブサイト運用」により、携帯サイトの開設・運用も少ない職員で可能にさせることができたと考えています。